

都市計画法	開発事業者と市の流れ
<p>市（法第32条の同意・協議）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>開発行為許可申請（法第29条）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>開発行為許可の通知 （法第35条第2項）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>工事着手届</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〔 工事完了届 公共施設工事完了届 （法第36条第1項） 〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〔 工事完了検査 公共施設工事完了検査 〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>〔 工事完了検査後 〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>工事の検査済証の交付 公共施設工事の検査済証の交付 （法第36条第2項）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>公告（法第36条第3項）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>公共施設の管理・帰属 （法第39条・40条）</p>	<p>各主管課に開発事業事前協議申請書（様式第1号）の提出</p> <p>各主管課と開発事業協議報告書（様式第2号）の取り交わし</p> <p>市長と開発事業者で開発事業事前協議書の締結（都市計画課）</p> <p>公共施設の帰属がある主管課ごとに協定書（様式第3号）の締結。協定書は、事業者側で作成し、事業者の朱肉付き2部を提出（開発行為許可申請書の提出時に協定書の同時提出も可）</p> <p>協定書の提出を確認後、都市計画課から県に進達 開発行為についての協議報告書に公印の押印 （開発行為許可申請書の添付書類）</p> <p>各届は市（都市計画課）経由</p> <p>通常、県の検査と同時検査（都市計画課・関係課）</p> <p>開発事業者は各補正項目が完了した後、速やかに分筆登記（所有権以外の権利がある場合は、その抹消登記）を完了し、公共公益施設の帰属に必要な各書類を主管課に提出</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>主管課から都市計画課に、上記書類受理又は合格した旨を報告</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>都市計画課から奈良県に、検査済証の発行を行うよう連絡 （連絡がない限り検査済証の交付は留保）</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p>公告の日の翌日において市の管理・帰属 ただし、協定書により別段の定めをしたものは、それを遵守 （事前に管理引継ぎの時期を決定し、その時期に管理引継書（様式第4号）を提出）</p> <p>引継検査合格後、市に引継</p>

建築基準法及び道路位置指定基準	開発事業者と市の流れ
<p>市（道路位置指定基準第 2-1-11）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>道路の位置の申請（基準第 3-1）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>築造開始の通知 （基準第 3-2）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>築造開始</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>築造完了届 （基準第 3-3）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>現場審査 （基準第 3-3）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[現場審査後]</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>適合通知の交付 （規則第 10 条）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>公告（基準第 3-5）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>公共施設の管理・帰属 （開発指導要綱第 21 条）</p>	<p>各主管課に開発事業事前協議申請書（様式第 1 号）の提出</p> <p>各主管課と開発事業協議報告書（様式第 2 号）の取り交わし</p> <p>市長と開発事業者で開発事業事前協議書の締結（都市計画課）</p> <p>公共施設の帰属がある主管課ごとで協定書（様式第 3 号）の締結。協定書は、事業者側で作成し、事業者の朱肉付き 2 部を提出（開発行為許可申請書の提出時に協定書の同時提出も可）</p> <p>協定書の提出を確認後、都市計画課から高田土木事務所に回答 市町村との協議記録書を確認 （道路の位置指定申請書の添付書類）</p> <p>通常、県の検査と同時検査（都市計画課・関係課）</p> <p>開発事業者は各補正項目が完了した後、速やかに分筆登記（所有権以外の権利がある場合は、その抹消登記）を完了し、公共公益施設の帰属に必要な各書類を主管課に提出</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>主管課から都市計画課に、上記書類受理又は合格した旨を報告</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>都市計画課から高田土木に、通知書の発行を行うよう連絡 （連絡がない限り交付は留保）</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p>公告の日の翌日において市の管理・帰属 ただし、協定書により別段の定めをしたものは、それを遵守 （事前に管理引継ぎの時期を決定し、その時期に管理引継書（様式第 4 号）を提出）</p> <p>引継検査合格後、市に引継</p>